

熱供給事業における再生可能エネルギーの導入について

—芝浦地区—

弊社(東京下水道エネルギー株式会社)は、本年 4 月 1 日より港区港南一丁目の芝浦地区(別紙参照)において、現在活用している下水の熱(処理水)に加えて、新たに全使用電力量のうち、約 30%相当を東京電力エナジーパートナー株式会社が提供するグリーンベーシックプランへ切替え、再生可能エネルギーの調達・導入による脱炭素熱供給への取組みを開始しますのでお知らせいたします。この結果、代々木公園の面積に相当する「森林創出」効果(年間 463トンの CO₂排出量削減*)を見込んでいます。
(*)杉林 1ha が 1 年間で吸収する CO₂を約 8.8トン、代々木公園の面積を 54ha として換算

弊社は、1992 年の設立以来、都市の未利用エネルギーである未処理の下水の熱のみを熱源としている我が国唯一の熱供給・地域冷暖房事業を運営してきました。この実績に基づき、将来の脱炭素(カーボンニュートラル)熱供給の実現に向けて、熱需要家である品川シーズンテラスさまと協力・連携を図りながらエンドユーザーであるテナントの皆さまへの訴求などを目指し、今回、再生可能エネルギー(環境価値付電力)を導入いたします。

■芝浦地区での導入スキーム



今回の取り組みは、大気汚染防止として始まり省エネやエネルギーの高効率化による環境保全、温暖化防止に貢献してきた熱供給・地冷事業者が、エネルギー事業者と熱需要家との「結節点」として脱炭素化の裾野を広げていく役割を担うもの、と考えています。今回の導入で弊社の全ての熱供給地区(3地区)において再生可能エネルギーの導入となりました。

＜お問合せ先＞

東京下水道エネルギー株式会社

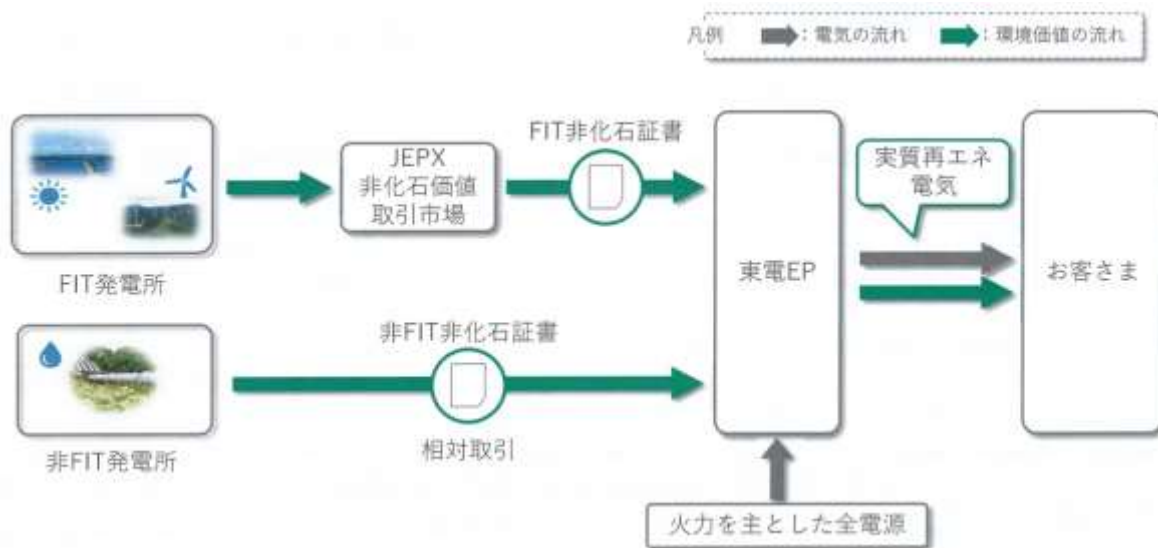
技術部 須齋 電話：03-5541-0700

(別紙)

1. 芝浦地区供給区域図



2. 「グリーンベーシックプラン」の活用による再生可能エネルギーの導入



今回は、トラッキング付きでRE100 対応可能であるグリーンベーシックプランを活用して導入しています。なお、このスキームは“東京電力エナジーパートナー株式会社と東京都下水道局”及び“東京都下水道局と弊社TSE”との2つの「協定(契約)」で成り立っています。